

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		波の家魚住北放課後等デイサービス				公表日	令和7年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	国の指定基準を満たし、余分な物は置かないようにしています。	パーテーション等を使用する工夫を引き続き行ないます。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	安全に活動できるようにその都度、カリキュラムの見直しを行なっています。	基準以上に配置しているが送迎等で出払う事があり、また、急な職員の休み等がある場合は配置が難しい感じる為、工夫しながら支援して行ないます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関の階段に手すりの取りつけを行なっています。トイレの前に、入っては危険な場所をテープで囲み目視でわかりやすくしています。	トイレ内の幅が、介助する際に狭いが、掃除道具などの置き場所を配慮し対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	掃除等が行き届くよう毎日、清掃を心掛けている。物の配置についても活動しやすい環境になっているか見直しを行なっています。	建物に隙間があり、アリが入ることがある。また、建物が古く、下水の臭いが上がりてくることがあるが、その都度対応しています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	パーテーション等を使用する工夫を行なっています。	荷物を置くスペースに限りがあり、個別で過ごす部屋に限りがある為、物の配置を工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		法人全体で半年に一度の業務改善の為のレポート提出があり、その中で議題が挙がった意見は検討、改善を行なっています。	引き続き現状を維持して行ないます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1回の面談時にも保護者の意向を聞いています。	引き続き現状を維持して行ないます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	法人全体で半年に一度の業務改善の為のレポート提出があり、その中で議題が挙がった意見は検討、改善を行なっています。	現状を維持しつつ必要に応じて取り入れています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	現在は行っておりません。	必要に応じて取り入れています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人全体研修の内容は各施設に持ち帰り、担当者から職員に周知しています。	引き続き現状を維持して行ないます。	
適切な支援の提供	11	サニーサイドのカリキュラム表を通じて、適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		前月にカリキュラムを立て固定化しないように工夫を行なっています。月に1回のサニーサイドでその日のレクリエーションを公表しています。	引き続き現状を維持して行ないます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		活動の中での様子をもとに、個別に保護者と面談し、課題やニーズを取り入れて作成しています。	引き続き現状を維持して行ないます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		各支援員としっかり情報共有を行い、共通認識のもと利用者にとって最善となるよう考慮しています。	引き続き現状を維持して行ないます。	
	14	障害児通所支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画作成後ミーティングを行い職員間で周知している。コミュニケーションノートに計画書を添付し、常に確認しながら支援できるようにしています。	引き続き現状を維持して行ないます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		支援計画をもとに日々の利用者の行動を観察し、記録に残すことで状況を把握しています。	引き続き現状を維持して行ないます。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		年に2回の保護者面談にて振り返り、適切な支援内容となっているか見直しを行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		前日にプログラムの計画を立て、利用者の特性や状況に合わせて検討し、職員間で意見を出し合い、取り組んでいます。また利用者のアンケートをもとにスキルアップにつなげています。	引き続き現状を維持していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		プログラムが固定化しないように職員間で意見を出し合いながら、前月に組み、取り組んでいます。	引き続き現状を維持していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		月ごとのプログラム計画票をもとに、集団活動を毎日行い、個別療育は児童の状況に合わせて取り入れています。	引き続き現状を維持していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	月ごとに役割分担を行い、その日の支援内容をミーティングにて確認し、連携して支援を行っています。	職員間でしっかりと打ち合わせを行い、役割分担について周知出来るようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	その日に行った支援内容や振り返りは、業務ノートに記入し、気づいた点を共有しています。	その日の支援内容を伝える時間を作り、気づいた点を共有できるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用者の様子や支援内容については、記録を残し、常に意見交換しながら検証・改善に努めています。	引き続き現状を維持していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、保護者や利用者の日々の様子を記録に残し、適切であるかを見直しています。	引き続き現状を維持していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者や支援員が出席し、支援内容を話し合っています。	引き続き現状を維持していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要がある際には連携できるように対応しています。	引き続き現状を維持していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	学校から情報提供を求められたり、支援方法を尋ねられた際には対応しています。	どのような方法で支援内容を共有していくか、職員間で周知していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて連携しています。	引き続き現状を維持していきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		必要に応じて連携しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		年に1度祭りを開催し、地域との交流を図っています。	引き続き現状を維持していきます。
	33	(自立支援)協議会へ積極的に参加しているか。				

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者と連絡ノートでもやりとりを行い、日々の様子や発達の状況を意見交換し共通理解ができるように努力しています。	引き続き現状を維持していきます。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者からの相談があった際には面談を行い話し合いの場を設けています。また保護者会を開催し意見を出していただく場を設けています。	引き続き現状を維持していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		面談時に保護者と支援計画の内容を振り返りながら十分な聞き取りを行い説明しています。	引き続き現状を維持していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		面接時に支援内容をしっかりと説明し同意を得ています。	引き続き現状を維持していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者からの相談があった際や面談時、送迎の時など、必要に応じて相談助言が出来るようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者会を行い保護者同士の交流や情報交換する場を提供しています。	保護者会の内容を職員間で周知出来るよう取り組んでいます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者が相談、申し入れを行いやすい環境を整え、その都度適切な対応を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月に1度サニーサイドを発行し、定期的にブログのUPを行い、利用者の様子を発信しています。	引き続き現状を維持していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は鍵付きロッカーに保管し、施設外の持ち出しが無いよう徹底しています。破棄する際はシュレッダーを活用しています。	引き続き現状を維持していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		メールや電話、面談や送迎の際に利用者の様子を伝達しています。	引き続き現状を維持していきます。
	44	子どもや保護者からの相談や苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	苦情が上がった際にはすぐに職員間で情報共有し、話し合った上で対応しています。保護者にはしっかりとした対応案を伝えるようにしています。	苦情対応について再度職員間で周知出来るようにしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各対策マニュアルを作成し、職員や保護者に周知し発生を想定した訓練を実施しています。	引き続き現状を維持していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		非常災害発生に備え、定期的に避難訓練を実施しています。	引き続き現状を維持していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		アセスメントをしっかりと取り、利用者の状況を把握し支援しています。	引き続き現状を維持していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アセスメントをしっかりと取り、利用者の状況を把握し支援しています。	引き続き現状を維持していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		職員間で周知し、研修や訓練を行っています。プログラムを決めるうえで、安全面に配慮し職員の配置、分担を決めています。	引き続き現状を維持していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		利用者の様子を保護者に丁寧に連絡し、必要に応じて、対応を保護者と相談しています。	引き続き現状を維持していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		気になることは職員間で共有した上で対応し、記録に残しています。	引き続き現状を維持していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修を行い、職員間で周知を徹底しています。職員間で意見を言い合える環境作りを心がけています。	引き続き現状を維持していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		現在身体拘束が必要な利用者はおりません。	引き続き現状を維持していきます。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	波の家魚住北放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和6年 8月 1日 ~ 令和6年 8月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和6年 8月 1日 ~ 令和6年 8月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動プログラムを構成し、静と動の切り替えを大切にしながら日々過ごしています。	5領域を踏まえ、月案を組み支援目標も考慮しながら、楽しく過ごす事が出来るよう、支援者が意見を出し合い支援を行っています。学習時間や座って出来る活動、おもいっきり体を動かすプログラムと切り換えて行動出来るように工夫しています。	支援員が利用者の特性をしっかりと把握し対応します。保護者との関係性も深め、思いを汲み取り利用者の成長を促せるようプログラムを組み立てて提供していきます。
2	利用者や保護者との意思疎通や情報交換、利用者の成長につながるよう意見交換、相談を密に行ってています。	利用者のお話を聞きするときは、安心して話せるよう1対1で対応を行っています。支援員が思いを汲み取り、代弁することで利用者のお気持ちが落ち着くように支援しています。保護者とはサービス提供記録に限らず、電話やメールを密に行い当日の様子や気になった点をお伝えし情報交換に心掛けています。また、保護者から相談があった際には定期的な面談以外にもお話出来る場を設けています。	利用者から相談があったり、気になる点があった際に、支援員一人で解決するのではなく、支援員間で情報交換を行い、意見交換を行った上で、最適な解決方法を導き、対応に努めています。保護者が不安に感じている事を汲み取り、密に対応出来るように今後も努めてまいります。
3	集団活動に特化し、利用者それぞれが他者を意識し、気遣いを学び毎日笑顔が絶えない環境を提供しています。	集団が苦手な特性をお持ちの利用者が多い中、この仲間であれば協力して楽しめる、安心できると過ごせる環境づくりを心掛けています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有が難しい事例もある。	日々の事柄をメモに残すことや、ミーティング以外での情報の交換が薄い。	一人一人が意識し、日頃からメモを取る習慣を身に付け、こまめに職員間での情報交換共有を心掛けいきます。
2			
3			

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果					
事業所名	波の家魚住北放課後等デイサービス	公表日 令和7年 2月 1日						
		利用児童数 25				回収数 10		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 9	どちらともいえない 1	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					施設の入り口に階段があり、昇り降りする際には、必ず職員が補助に入っています。また、設置している手すりを使用して、怪我のない様引き続き配慮を十分に行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			1		日々の取り組みを保護者にしっかりと伝達し、コミュニケーションノートや送迎の際、また電話やメールにて様子をお伝えします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			2		再度、サニーサイドやコミュニケーションノートにて、プログラムの発信を行っている事をお伝えしていきます。送迎やお迎えの際に、様々な活動に取り組まれたことをお伝えしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6			2		今後実施できるよう、保護者との意見交換を実施します。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					今後も現状を継続していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					今後も現状を継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1				参加出来る機会を作り、提供していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。

保 護 者 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		1		計画的に案内し、保護者会を継続できるように努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1		普段からコミュニケーションをしっかりと取り、相談や申し入れがしやすい環境を整えます。家族支援の方法を明確にしてまいります。必要に応じて専門職へ繋げられるよう、情報提供させていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					今後も現状を継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			1		事故や怪我が発生した際には、速やかに状況説明を行います。マニュアルに基づいて対応方法をお伝えしていきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					子ども達に寄り添い、安心して通所していただけるように努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10				毎日楽しく通所しています。	通所を楽しみにして頂けるよう、色々なプログラムを提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					引き続き、満足頂けるように支援を行っていきます。